

文化芸術交流事業に必要な経費

造形美術事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 造形美術情報交流（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 国際展（国際展参加）
- (2) 海外展（企画展）
- (3) 海外展（巡回展）
- (4) 国内展（企画展）
- (5) 海外展（助成）
- (6) 国内展（助成）
- (7) 造形美術情報交流（催し）

3. 催し等事業費（トリエンナーレ）

- (1) 国際展（横浜トリエンナーレ）

造形美術事業費

1. 人物交流事業費 (1)造形美術情報交流(招へい)

海外の専門家の招へいを通じ、日本の美術情報の海外発信を行なうとともに、海外の美術情報を収集し、また人的ネットワークの拡充を図る。

合計額 1,923,206円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	中国キュレーター招聘	韓国 中国	07.02.11～ 07.02.15	2007年日中文化・スポーツ交流年事業「美麗新世界:当代日本視覚文化」展に関連し、キュレーター等美術関係者6名を招へい

2. 催し等事業費 (1)国際展 (国際展参加)

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

合計額 71,850,022円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	第10回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展	イタリア	ヴェネチア	カステロ公園 内日本館	06.09.10～ 06.11.19	2006年ヴェネチア・ビエンナーレ建築展の日本館で、「藤森建築と路上観察」をテーマとして、建築家藤森照信氏、路上観察学会の展示を実施
2	第27回サンパウロ・ビエンナーレ	ブラジル	サン・パウロ	チチロ・マタ ラッソ・パビ リオン	06.10.07～ 06.12.17	第27回サンパウロ・ビエンナーレは、伝統的な国別参加方式を廃し、他者との共生をテーマに展覧会が構成された。国際交流基金は、島袋道浩氏とアトリエ・ワンの出品、長谷川祐子氏のシンポジウム参加に協力した
3	第52回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展(準備)	イタリア	ヴェネツィア		06.04.01～ 07.03.31	2007年のヴェネチア・ビエンナーレ美術展の日本館展示のための準備を実施
4	第12回バンガラデシュ・ビエンナーレ(事後)	バンガラデシュ	ダッカ		06.04.01～ 06.06.30	2005年3月に実施した第12回バンガラデシュ・ビエンナーレの作品返却と報告書作成

2. 催し等事業費 (2)海外展(企画展)

海外の美術館・博物館などとの共催により、わが国の美術・文化を海外諸国に紹介する。

合計額 121,561,022円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	アジアのキュビズム展	韓国 シンガポール	ソウル シンガポール	徳寿宮美術館 シンガポール 美術館	05.11.11～ 06.04.09	日本をはじめ中国、韓国、インド等アジア11カ国のキュビズム作品約120点を通じてアジアの近代美術の共通性と差異を明らかにしつつアジアの近代を再考する展覧会
2	日本の子ども展	全世界区分困難			06.09.13～ 07.03.31	平成18年度の中東との集中的文化交流事業の一環として、終戦直後から今日までに、国内写真家が捉えた子どもの写真100点からなる展覧会を制作し、実施する。(巡回展参照)
3	日本の知覚展	オーストリア スペイン	グラーツ ビーゴ		06.04.01～ 06.08.31	オーストリアのグラーツ並びにスペインのビーゴで開催された日本現代美術展「日本の知覚展－CHIKAKU: Time and Memory in Japan」の作品返却作業実施

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
4	Rapt!: 20 Contemporary Artists from Japan	オーストラリア	ダーウィン シドニー メルボルン ブリズベン パース	24HR Art Artspace, Object Gallery, Center for Contemporary Photography, Gertrude Contemporary Art Spaces, Insutitude of Modern Art, Kings Artist Run Initiative, Monash University Museum of Art, Nillumbik Shire's Birrarung, Perth institute of Contemporary Arts, RMIT Project Space, Spacement Gallery, The Asialink Center, West Space	06.08.02～ 06.11.18	2006年日豪交流年を機会に、日本とオーストラリアの若手キュレーターの共同企画で、メルボルン市を中心に10数カ所のスペースを使って、日本人作家20名／組の作品を展示し、あわせてシンポジウム、ワークショップなどを実施
5	「Katagami—型紙とジャポニスム展」	フランス	パリ	パリ日本文化会館	06.10.19～ 07.01.20	日本の工芸において型染めの中心的技法として伝承されている型紙の歴史と、それが西欧の工芸デザインへ及ぼした影響とを、多くの作例と共に検証する展覧会「Katagami—型紙とジャポニスム展」を開催。会期中、関連事業として講演会を2日間実施
6	日中周年事業 (準備)	中国			06.04.01～ 07.03.31	2007年日中文化・スポーツ交流年に因み、中国において日本の現代美術を包括的に紹介する展覧会「美麗新世界:当代日本視覚文化」の準備を実施
7	日印周年事業 (準備)	インド			06.04.01～ 07.03.31	2007年の日印交流年に因み、インドで日本の現代美術を紹介する展覧会「消失点—日本の現代美術」を開催するための準備を実施

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
8	日伯周年事業 (準備)	ブラジル			06.04.01～ 07.03.31	2008年日伯交流年に因み、ブラジルで日伯の現代美術展「ライフがフォームになるとき－未来への対話／ブラジル、日本」を開催するための準備を実施。
9	Crafting Beauty in Modern Japan (準備)	英国	ロンドン	大英博物館 ホートウン グ・ギャラ リー	06.04.01～ 07.03.31	2007年に大英博物館で開催されるCrafting Beauty in Modern Japan展の実施に向けた準備を実施
10	日インドネシ ア周年(準備)	インドネシア			06.04.01～ 07.03.31	2008年の日本インドネシア友好年関連の日本美術展「KITA!! Japanese Artists Meet Indonesia」のための準備を実施

2. 催し等事業費 (3) 海外展(巡回展)

国際交流基金が所蔵する日本の芸術・文化に関する展示セットを海外諸国に巡回する。

合計額 155,885,810円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	日本の新世代 アーティスト 展	フランス スロバキア スウェーデン クウェート ドイツ	パリ ブラチスラバ ストックホル ム クウェート ケルン	パリ日本文化 会館 美術アカデ ミー・ミデイ アムギャラ リー 東アジア博物 館 クウェート造 形美術協会 ギャラリー ケルン日本文 化会館	06.04.26～ 06.06.24 06.09.07～ 06.09.27 06.10.15～ 06.11.26 07.01.15～ 07.01.31 07.03.09～ 07.05.25	モノづくりへの丹念な取り組みという視点から、福井篤、廣瀬智央、明和電機等11人の作家の絵画、彫刻、インスタレーション、写真、ビデオ作品を紹介。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
2	伝統陶芸展	アルジェリア	アルジェ	アルジェ国立美術館	06.04.05～ 06.05.04	河井寛次郎、浜田庄司など日本の陶芸を世界に知らしめた故人陶芸家の他、人間国宝となった作家を含む、現在日本の伝統陶芸界の第一線で活躍している作家55名の作品65点で構成し、現代日本陶芸の動向を紹介。
			オラン	ザバナ国立博物館	06.05.17～ 06.06.15	
		ドイツ	バート・ゾーデン	バート・ゾーデン市立美術館	06.07.13～ 06.08.13	
		米国	セント・ルイス	ミズーリ大学セントルイス校セントルイス・マーカンタイル図書館	06.09.25～ 06.11.30	
			デルレイ・ビーチ	モリカミ博物館・日本庭園(デルレイ・ビーチ市)	07.01.11～ 07.03.18	
3	ポスターに見る日本展A	タイ	バンコク	バンコク日本文化センター	06.04.20～ 06.04.29	広告メディアのひとつであると同時に「社会芸術」として位置付けられている商業広告ポスター作品を通じて日本の社会や生活を紹介。
			チェンマイ	チェンマイ大学アートギャラリー	06.05.09～ 06.05.28	
		インドネシア	バンドン	ギャラリー・スマルジャ	06.08.04～ 06.08.20	
			ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	06.09.08～ 06.09.30	
4	ポスターに見る日本展B	ベラルーシ	モギリョフ	ビヤリニツキー・ピルリ博物館	06.04.15～ 06.05.07	広告メディアのひとつであると同時に「社会芸術」として位置付けられている公共広告ポスター作品を通じて日本の社会や生活を紹介。
			ミンスク	国立ベラルーシ歴史文化博物館	06.05.12～ 06.05.30	
		エチオピア	アデイスアベバ	エチオピア国立博物館	06.07.06～ 06.07.25	

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
5	写楽再見展	ルクセンブルク リトアニア	ラ・ロシェット クライペダ	ラ・ロシェット城 リトアニア美術館 P.ドムシャイティス記念ギャラリー	06.04.29～ 06.07.23 06.08.04～ 06.08.26	歌舞伎役者を描いた独特の大首絵によって内外から高い評価を得ている東洲斎写楽をテーマとし、日本の今日の現代美術作家がこの傑出した浮世絵師を自由に解釈して制作したポスター、絵画、立体作品等を紹介。
		ガーナ	アクラ	ガーナ国立博物館	06.09.12～ 06.09.24	
		イスラエル	ハイファ	ハイファ市立ティコティン日本美術館	06.12.16～ 07.01.27	
		カザフスタン	アルマティ	カスターエフ名称芸術博物館	07.02.16～ 07.02.25	
			アスタナ	大統領文化センター会場脇ホール	07.03.09～ 07.03.18	
6	日本人形展(E)	ギリシャ シリア ベルギー	アテネ ダマスカス ブリュッセル	旧国会議事堂 アサド文化芸術ハウス 欧州委員会シャルルマーニュ・ビル	06.06.23～ 06.07.02 06.11.28～ 06.12.12 07.02.19～ 07.02.28	伝統的な「雛人形」や「五月人形」をはじめ、日本各地で様々な形で発展した人形の中から特色のあるものを紹介。
			ブリュッセル	在ベルギー日本国大使館 広報文化センター	07.03.08～ 07.03.21	
7	日本人形展(F)	シンガポール パラグアイ ニカラグア コスタリカ コロンビア	シンガポール アスンシオン マナグア サンホセ ボゴタ メデリン	アーツ・ハウス パラグアイ・日本人造りセンター 文化宮殿 ナショナル・ギャラリー コルスブシテイオ美術館 メトロポリタン劇場	06.04.21～ 06.05.09 06.07.27～ 06.08.23 06.10.04～ 06.10.24 06.11.06～ 06.11.28 07.02.01～ 07.03.02 07.03.08～ 07.03.31	伝統的な「雛人形」や「五月人形」をはじめ、日本各地で様々な形で発展した人形の中から特色のあるものを紹介。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
8	手仕事のかたち	オーストラリア	キャンベラ	豪州国立博物館	06.03.24～ 06.04.26	陶芸、染織、金工、木竹工、紙などひびの暮らしの中ではぐくまれてきた伝統的工芸品と、各地の工房で伝統的な技術を用いつつ想像性豊かな作品を生み出している工芸作家の作品を紹介。
			ヌーサ	ヌーサ・リージョナル・ギャラリー	06.05.12～ 06.06.10	
			メルボルン	クラフト・ビクトリア	06.06.22～ 06.07.22	
			パース	セントラルテイフ・アートギャラリー	06.08.11～ 06.08.31	
		イエメン	サナア	サヌア文化センター	06.09.16～ 06.10.04	
		サウジアラビア	リヤド	国立博物館	07.03.25～ 07.04.04	
9	日本のクレイワーク展	スリランカ	コロンボ	ライオネル・ウェント・アートギャラリー	06.04.22～ 06.04.26	50年代から90年代のクレイワーク（陶を素材とした立体造形）について、代表的作家29名の作品44点を紹介。
		ブルネイ	バンダルスリブガワン	ブルネイ博物館メイン・ホール	06.05.24～ 06.06.04	
		パプアニューギニア	ポートモレスビー	パプアニューギニア大学図書館展示スペース	06.07.11～ 06.07.25	
		米国	グアム	グアム大学内イズラセンター	06.08.17～ 06.09.29	
		ポルトガル	カルダス・ダ・ライニャ	陶器博物館（カルダス・ダ・ライニャ）	06.10.21～ 06.11.23	
		スロベニア	リュブリャナ	スロベニア国立博物館	06.12.12～ 07.01.10	
		ラトビア	リガ	ラトビア芸術家協会ギャラリー	07.02.02～ 07.03.04	

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容	
10	日本の版画： 1950-1990	ボリビア	ラパス	タンボ・キルクインチョ	06.06.01～ 06.06.30	20世紀後半に活躍した46作家の代表作を含む計75点の版画作品を紹介。	
			ラパス	国立美術館	06.07.07～ 06.07.31		
		エルサルバドル	サンタアナ	サンタアナ国立劇場	06.09.08～ 06.09.24		
			サンサルバドル	ショッピングセンター「ガレリアス」展示会場	06.09.29～ 06.10.15		
			サン・ペドロ・スラ	サイベ劇場	06.11.02～ 06.11.16		
		ホンジュラス	テグシガルバ	アトランティダ銀行	06.11.22～ 06.12.05		
		ベネズエラ	カラカス	エスタンシア文化センター	07.02.06～ 07.02.18		
		キューバ	ハバナ	サンフランシスコ・デ・アシス修道院	07.03.09～ 07.04.15		
11	こけしの世界展 (A)	インドネシア	メダン	在メダン日本国総領事館	06.12.22～ 07.01.31		日本の代表的な郷土人形であるこけしの様式・技法等の特色を作品約70点により、総合的に紹介。
			ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	07.03.09～ 07.03.26		
12	こけしの世界展 (B)	ウルグアイ	モンテビデオ	外務省サントス宮殿	06.05.08～ 06.05.19	日本の代表的な郷土人形であるこけしの様式・技法等の特色を作品約70点により、総合的に紹介。	
			サンホセ	サンホセ美術館	06.05.23～ 06.06.04		
		グアテマラ	グアテマラ	国立近代美術館	06.07.11～ 06.07.30		
			ケッツアルテナンゴ	ケッツアルテナンゴ市立劇場	06.08.08～ 06.08.22		
		米国	(ワシントン州)ベルビュー・シアトル	秋祭り会場(ベルビュー市)及び在シアトル日本国総領事館広報文化ホール(シアトル市)	06.09.01～ 06.09.10		
		グアテマラ	ヘレナ	クマモトプラザ展示室	06.09.14～ 06.10.27		
		米国	(ミシガン州)ノバイ	シビックセンター	06.11.06～ 06.12.03		
			(ユタ州)ウエストバリー	ユタ・カルチャラル・セレブレーション・センター	07.01.12～ 07.02.21		
			ボイシー	アイダホ歴史博物館	07.03.01～ 07.03.20		

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
13	写真展「自然に潜む日本」展	エクアドル チリ アルゼンチン ペルー メキシコ ドミニカ共和国	キト サンティアゴ コルドバ アレキパ メリダ サントドミンゴ	赤道技術大学 展示ホール 国立図書館 コルドバ銀行 博物館 アレキパ市役 所展示室 ユカタン現代 美術館 MACAY サントドミン ゴ自治大学図 書館ロビー展 示スペース	06.04.19～ 06.05.10 06.08.01～ 06.08.31 06.09.21～ 06.10.06 06.12.12～ 06.12.21 07.02.01～ 07.03.23 07.03.15～ 07.04.09	写真家矢萩喜従郎氏の写真作品を中心に日本の風景をモノクロの写真85点で紹介。
14	現代日本の陶磁器	ブラジル アルゼンチン ペルー ベトナム インド タイ	リオ・デ・ジャ ネイロ ブエノス・ア イレス リマ ハノイ ホー・チ・ミ ン ニューデリー ハイダラー バード コルカタ ムンバイ (ボ ンベイ) バンコク	ブラジル銀行 文化センター 国立図書館 国立博物館展 示室 ベトナム人材 協力センター ホーチミン市 展覧会場 ニューデリー 事務所ギャラ リー チョーマハラ 宮殿 ギャラリー・ ラサ プリンス・オ ブ・ウェール ズ博物館 バンコク国立 美術館	06.04.24～ 06.05.21 06.06.01～ 06.06.30 06.08.09～ 06.08.27 06.09.20～ 06.10.04 06.10.18～ 06.10.27 06.11.16～ 06.12.04 06.12.16～ 06.12.23 07.01.06～ 07.01.14 07.01.24～ 07.01.30 07.03.02～ 07.03.29	伝統を引継ぎ、有田・唐津、萩、備前、京都、久谷、瀬戸・美濃、益子の窯場で優れた作品を制作している若手作家の作品を紹介。

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
15	くまもとアートポリス	カナダ	モントリオール	モントリオール市立フロントナック文化会館入り口ホール	06.05.04～ 06.05.27	自治体や民間の建造物を建設するにあたり、内外から優れた建築家を起用するという熊本県の画期的なプロジェクト「くまもとアートポリス」によって生み出された建築を紹介。
		マレーシア	ジョホール・バル	マレーシア工科大学ギャレリウム	06.07.20～ 06.08.03	
			シャー・アラム	ギャラリー・シャー・アラム	06.08.11～ 06.09.10	
		モンゴル	ウラン・バートル	モンゴル国立博物館	06.10.06～ 06.10.20	
		ネパール	カトマンズ	在ネパール日本国大使館多目的ホール	06.11.03～ 06.11.17	
16	凧・独楽F	アラブ首長国連邦 ヨルダン シリア レバノン	アブダビ アンマン ダマスカス アレppo ベイルート	アブダビ・モール アンマン市役所展示ホール ダマスカス大学芸術学部 アレppo大学中央図書館 ブルーバード・モール	06.04.19～ 06.04.30 06.05.14～ 06.05.27 06.06.04～ 06.06.14 06.06.18～ 06.06.22 06.07.04～ 06.07.18	日本の伝統的な玩具で、全国各地に伝わる凧・独楽を紹介。
17	現代日本デザイン100選	米国 ブラジル カナダ	シアトル マイアミ サン・フランシスコ ホノルル リオ・デ・ジャネイロ サン・パウロ ブラジリア トロント	シアトルセンター モリカミ博物館・日本庭園(デルレイ・ビーチ市) ジャパントウン近鉄モール ハワイ日本文化センターコミュニティギャラリー リオ国立美術館 サンパウロ美術館 連邦貯蓄銀行文化センター デザイン・エクスチェンジ・ギャラリー	06.04.08～ 06.04.23 06.05.11～ 06.05.26 06.06.09～ 06.06.30 06.07.27～ 06.09.13 06.10.26～ 06.11.26 06.12.11～ 07.01.14 07.01.30～ 07.02.25 07.02.08～ 07.04.29	1990年代に製作された生活用品のデザイン約100点、その原点ともいえる戦後の50年代に製作された作品13点を紹介。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
18	90年代の日本の絵画展	中国 オーストラリア ニュージーランド	広州 北京 シドニー メルボルン キャンベラ ブリズベン オークランド	広東美術館 北京東京芸術工程 シドニー日本文化センター ギャラリー マクレランド・ギャラリー 豪州国立大学内ドリルホール・ギャラリー クイーンズランド工科大学美術館 ガス・フィッシャー・ギャラリー パタカ芸術文化美術館	06.03.31～ 06.04.16 06.04.23～ 06.05.07 06.06.07～ 06.06.30 06.07.09～ 06.08.27 06.09.14～ 06.10.29 06.11.10～ 06.12.19 07.01.19～ 07.02.13 07.02.10～ 07.04.18	現在高い評価を得ている会田誠、小林孝亘、奈良美智、村上隆等9名の作家が、1990年代に30代の若手作家としてどのように絵画に取り組み、新しい表現を獲得しようとしていたかを紹介。
19	out of the ordinary/ extraordinary	米国 メキシコ	ロス・アンジェルス サポパン メキシコシティ	ジョージ・G・ドイザキ・ギャラリー サポパン美術館 セントロ・デ・ラ・イマヘン	06.05.10～ 06.06.20 06.08.17～ 06.10.01 06.12.14～ 07.02.25	様々な価値観や視点によってより複雑化する現代にあつて、日常や身の回りから世界に共感し、「他者」の多様な声を尊重し、寄り添って聞くような表現一日々の平凡な日常から生まれた「非凡」な日本の現代写真を紹介。
20	日本の子ども60年	ウクライナ スーダン レバノン ヨルダン	キエフ ハリコフ ハルツーム バイルート アンマン	ソフィア寺院内展示会場「フィリブニャ」 ハリコフ国立美術館 スーダン国立博物館 レバノン大学芸術学部 アンマン市庁舎	06.09.13～ 06.09.26 06.10.05～ 06.10.22 06.12.16～ 06.12.25 07.02.16～ 07.02.27 07.03.18～ 07.03.29	写真家の目がとらえた子供達の生活ぶりをはじめ、戦後～現代にいたる日本の60年間の歩みを振り返るという趣旨のもと、木村伊兵衛、土門拳ら97名の写真家により撮影された子供達の写真100点を紹介。
21	日本の現代写真-1970年代から今日まで	ポーランド ハンガリー	ワルシャワ ブダペスト	ポーランド写真家芸術家協会 ブダペスト事務所	07.03.08～ 07.04.19 07.01.15～ 07.02.16	「1970年代から今日までの現代日本に暮らす人々とそれととりまく風景」をテーマに、森山大道、荒木経惟ら23名の写真家による、計76点の作品を紹介する展覧会を制作し、巡回を開始。

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
22	日本の玩具展	韓国	蔚山	蔚山広域市立文化芸術会館第3展示室	06.10.20～ 06.10.29	古くは中国、朝鮮半島から伝来した伝統玩具、近世以降全国各地で生まれた郷土玩具、季節の年中行事に因んだ玩具、木や竹など身近な素材を使った玩具、近現代の玩具など日本の様々な玩具110点を紹介。
			済州	在済州日本国総領事館広報文化センター「たむな・ほーる」	06.11.13～ 06.11.22	
			ソウル	在韩国日本大使館公報文化院（シルク・ギャラリー）	06.12.10～ 06.12.15	
		パキスタン	カラチ	V.M.アートギャラリー	07.01.09～ 07.01.13	
			カラチ	在カラチ総領事館ホール	07.01.16～ 07.01.31	
23	日比友好年記念展覧会「日本の玩具－伝統と現代」	フィリピン				日比友好年に因み、マニラ事務所所蔵の展覧会のフィリピン国内巡回に係る経費を一部負担した。
24	人形師派遣	アルジェリア シリア			06.11.23～ 06.11.27 06.11.27～ 06.12.01	2006年中東との集中的文化事業の一環として、シリア及びアルジェリアで玉屋庄兵衛氏によるからくり人形の実演と、末松良一教授による講演会を開催し、伝統的なからくり人形の発展や、からくり人形と西洋のオートマタとの比較、からくり人形と現代ロボットとの関連性を紹介した。
25	現代日本の工芸	全世界区分困難			06.05.17～ 07.03.31	現代日本の工芸の状況を、共通する6つの特色－華、侘び、鋭、歪み、精緻、花鳥－に分類し、64点の作品によって紹介した展覧会の修復を行った。
26	スピリトを写す	全世界区分困難			06.04.01～ 07.03.31	細江英公、杉本博司、片瀬和夫ら11名の作品を通して、精神的な基盤が失われた時代に、物質的な現実には隠された見えないものがもっているであろう価値を表現しようとする作家たちの姿を紹介した「スピリトを写す」展の修復を行う。
27	パラレル・ニッポン現代日本建築1996-2006(新規制作)	全世界区分困難			06.04.01～ 07.03.31	日本建築学会との協力により、1996年から2006年に竣工した日本の建築から代表的な112作品を選び、写真に映像、模型を織り交ぜ、我国の社会文化状況と対比させながら紹介する展覧会を制作。

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
28	武道の精神展 (新規制作)	全世界区分困難			06.04.01～ 07.03.31	日本で用いられてきた武具類を、テーマ性・装飾性の高い作品を中心に展覧し、日本文化を武芸・武術の観点から視覚的に紹介する展覧会を制作。
29	日本のポップカルチャー (新規制作)	全世界区分困難				日本のポップカルチャーを背景として生まれた現代芸術を紹介する。2000年代に活躍を始めた若手作家の作品で構成。

2. 催し等事業費 (4)国内展 (企画展)

海外の優れた美術・文化のなかで、これまで日本に紹介される機会の少なかった展覧会を国内関係者と共催して実施する。
合計額 17,855,039円

	事業名	都市	会場	期間	事業内容
1	転換期の作法展 (事後)			06.04.01～ 06.07.31	2005年度に実施した中東欧現代美術展「転換期の作法 - ポーランド、チェコ、スロヴァキア、ハンガリーの現代美術」の作品返却等を実施。
2	日本の知覚展	川崎	川崎市岡本太郎美術館	06.04.08～ 06.06.25	グラーツ (オーストリア) およびビーゴ (スペイン) で開催された「CHIKAKU:四次元との対話-岡本太郎から始まる日本の現代美術」の帰国展を開催。
3	日本現代建築展 (国内展)	東京	東京都写真美術館	06.10.21～ 06.12.03	巡回展「パラレル・ニッポン 現代日本建築展 1996-2006」を海外巡回に先駆け国内で披露。
4	石内都： mother's 展	東京	東京都写真美術館	06.09.23～ 06.11.05	2005年度ヴェネチア・ビエンナーレ美術展 (第51回) 日本館展示を再構成した「mother's」展を実施。
5	第10回ヴェネチア ビエンナーレ 建築展帰国展 (準備)	東京	東京オペラシ ティアートギャ ラリー	06.12.07～ 07.03.31	2006年の第10回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展日本館で展示された「藤森建築と路上観察」展を東京オペラシティアートギャラリーにて帰国展として開催するための準備業務。
6	2008年度国内展 (準備)			06.04.01～ 07.03.31	2008年度に国内で開催する諸展覧会の準備

2. 催し等事業費 (5) 海外展 (助成)

国内外の美術館などが主催し海外で開催する日本の美術・文化紹介に関する展覧会に対し、経費の一部を助成する。
合計額 44,561,230円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	The Contemporary Art Exhibition of the 2006 Busan Biennale	韓国	Busan Biennale Organizing Committee	06.09.16～ 06.11.25	韓国の三つの国際展のうちの一つである釜山ビエンナーレは回を重ねるごとに評価を高めてきているが、今回のテーマは首都集中化現象による首都と地方都市間の相互関係をナラティブな側面に焦点を宛てて実施。日本から淀川テクニクが参加
2	Oriental Metaphor	韓国	Alternative Space LOOP	06.08.18～ 06.09.15	欧米からみたオリエンタリズムに対し、東アジアの視点から日本、韓国、中国の3人のキュレーターが共同して照射しようという試み。日本からの出品作家は会田誠など数名
3	上海双年展 (Shanghai Biennale)	中国	Shanghai Art Museum	06.09.05～ 06.11.05	1994年から開始された中国を代表する国際展のひとつである上海ビエンナーレ。今回、日本からは奈良美智ら数名が出品。
4	mishiranu hitobito - mak sang yen	中国	1a space	06.12.02～ 06.12.22	香港のオルタナティブ・スペース「1a space」と東京のオルタナティブ・スペース「現代美術製作所」が共同で、レジデンスと展覧会を相互に行う。日本からは開発好明など4作家が参加。
5	Exhibition of Wajima Lacquerware	インド	MODI Foundation	06.04.08～ 06.04.08 06.04.13～ 06.04.25	モディ財団が主催する「世界平和会議」に際し、インド文化協会及び印日友好協会が共催で日本の伝統工芸「輪島塗」の作品約60点を展示
6	Japanese Mask Exhibition	シンガポール	Asian Civilisations Museum	06.09.06～ 06.11.05	アジア文明博物館と日本の文化庁との共催事業で、縄文時代の仮面から国宝級の能面まで50点と能装束20点を展示。日シンガポール外交樹立40周年事業。
7	Singapore Biennale 2006	シンガポール	Singapore Biennale Secretariat, National Arts Council	06.09.04～ 06.11.12	シンガポールで初めてのビエンナーレで、南條史生が総合美術監督を務め、アジアから選んだ若手キュレーター4名が作家を選定。日本からは草間弥生、杉本博司、森万里子、向山喜章、秋山さやか、栗林隆の6名が出品
8	The Art of Washi Exhibition Viet Nam	ベトナム	Fine Arts Museum	06.08.20～ 06.08.25	「ベトナム文化交流使節団報告」のフォローアップ案件として企画され、社団法人日本和紙絵画芸術協会が共催する、日本の伝統的工芸品である手漉き和紙を用いて創作された和紙絵画の展覧会
9	Osamu Tezuka: The Marvel of Manga	オーストラリア	National Gallery of Victoria	06.11.17～ 07.02.25	手塚治虫の下絵150点に加え、漫画の表紙や広報用ポスターにも焦点をあてた展示。作品は手塚治虫ミュージアムより。キュレーターは日本アニメ、漫画を専門とするメルボルン在住のPhilip Brophy。マンガを題材とした展覧会を州立美術館レベルで開催するのは豪州初

造形美術事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
10	Zones of Contact	オーストラリア	Biennale of Sydney Limited	06.06.08～ 06.08.27	第15回シドニービエンナーレに44ヶ国85人のアーティストが参加。日本からは森山大道、宇治野宗輝、竹村京、東芋、向井山朋子が出品。
11	ASIA-PACIFIC TRIENNIAL OF CONTEMPORARY ART	オーストラリア	Queensland Art Gallery	06.11.23～ 07.05.31	アジア太平洋地域の約30人の芸術家を招聘する大型現代美術展。日本からは小澤剛と米国在住のテラオカ・マサミの二人の現代美術作家が出品。芸術家と子どもと一緒に作品を作る場も設ける
12	Master Grafika: The Saturo Itazu Print Workshop	オーストラリア	Griffith Artworks	06.04.01～ 07.03.31	版画家板津悟氏の展示会と日・豪のアーティストのワークショップ。プロジェクトには板津氏のクイーンズランド美術大学で行うレジデンスも含む。
13	Cafe Liustra	カナダ	Kelowna Art Gallery	06.07.01～ 06.09.30	「ノーヴァヤ・リューストラ」の中野良寿（美術家）と安原雅之（音楽学者）を2ヵ月半招聘し、インスタレーション作品を制作・展示。中野と安原は、レジデンス期間中、プリティッシュ・コロンビア大学オカナガン分校で講演・ワークショップを行うほか、オカナガン大学美術学部の学生が結成したデュオートーン・アーツ・コレクションのアンニアル・フェスティバルやバンフセンターのレジデンスに参加。
14	NEXT: Zero Yen House	カナダ	Vancouver Art Gallery	06.09.23～ 07.01.01	都会の路上生活者たちが住んでいる「家」を観察し、経費や環境への負荷、可動性など、その建築的な意味について検証している坂口恭平の個展。立体造形、写真、スケッチ、ドローイング、映像等でインスタレーションを構成
15	A JAPANESE KARAKURI TRIP by Minoru Takahashi	カナダ	The Centre d' exposition Raymond-Lasnier in the Maison de la Culture de Trois-Rivieres	06.12.01～ 07.12.30	木製のからくりおもちゃを手がける高橋みのるの作品を紹介。二部構成で、第一部では日本の風景をインスタレーション、第二部では、見世物小屋のイメージで、江戸時代のからくり人形からロボットにいたる「からくり」の歴史を紹介した。
16	CHIKANOBU: Modernity and Nostalgia in Japanese Prints	米国	Scripps College, Ruth Chandler Williamson Gallery	06.08.26～ 06.10.22	スクリプス大学の1200点に及ぶ浮世絵コレクションから、楊州周延の浮世絵60点、国芳、国貞、国周、芳年の作品10点を展示。明治時代の浮世絵師、周延を包括的に紹介する米国ではじめての展覧会。
17	Japan Design-Today	米国	Japanese American Cultural and Community Center (JACCC)	07.03.17～ 07.07.29	日米文化会館（JACCC）が東京アート・ディレクターズ・クラブの協力を得て、ポスター、包装デザイン、装丁、テレビ・コマーシャル等多様なジャンルにわたる日本の広告デザインを紹介した。

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
18	Skin and Bones: Parallel Practices in Fashion and Architecture	米国	The Museum of Contemporary Art, Los Angeles	06.11.19～ 07.03.05	1980年代から現在に至るまで、ファッションと建築両分野に共通してみられる視覚的・知的な法則を検証する展覧会。川久保玲、山本耀司、三宅一生、渡辺淳弥、伊東豊雄、坂茂、妹島和世を含む各国40名のファッション・デザイナー、建築家の作品を取り上げ、両分野に共通するポキャブラリー、プロセス、技術、そして、過去から現在に至るまでの様式的平行性を探る。
19	The Prints of Tsukioka Kogyo	米国	Frick Art & Historical Center	07.02.03～ 07.04.07	19世紀後半を代表する版画家で、能舞台を描くことを得意とした月岡耕漁の人生と業績を紹介する展覧会。米国内及びドイツ、オランダのコレクションから展示を構成。
20	Sensorium : Part I - Embodied Experience, Technology and Contemporary Art	米国	Massachusetts Institute of Technology - List Visual Arts Center	06.10.12～ 06.12.31	日米台の5名の現代美術専門家をキュレーターに迎え、池田亨司への委嘱作品を含む各国10名の作家の作品を通して、テクノロジーが人間の感覚に及ぼす影響を探求する現代美術展。
21	Ehon: The Artist and the Book in Japan, 764-2005	米国	The New York Public Library, Astor, Lenox and Tilden Foundations	06.10.20～ 07.02.04	ニューヨーク公立図書館のコレクション約150点を通して、奈良時代から今日に至る日本の挿絵入り本の歴史を概観。日本の書き物のなかで絵画が果たしてきた役割の重要性を西洋の書籍の歴史と比較しつつ紹介する。
22	On Site/Artists' Project:Shigeo Kawashima	米国	Visual Arts Center of Richmond	06.06.02～ 06.07.23	屋外作品の多い川島茂雄の竹工芸作品の模型10-12点と制作ドキュメンテーションの写真パネルに、リッチモンド視覚芸術センターでのレジデンスで制作した新作を加えた個展。
23	Photography exhibition by Japanese artist Rinko Kawauchi at The Photographer's Gallery	英国	The Photographers' Gallery	06.05.05～ 06.07.09	新進写真家である川内倫子のロンドン発の個展となる展覧会を開催。The Photographers' Galleryは71年に創立された独立したギャラリーで、日本の写真家もこれまで紹介してきた。今回の展覧会では、身近なものや人を撮影してきた作品の中からA I L Aなどの作品の額入りの写真35点とスライドによる作品キュイキュイの上映を行なう

造形美術事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
24	INDIGO: A Major Exhibition of Art, Craft, Fashion, and Design Featuring Historical and Contemporary Indigo-Dyed Art Effect from around the World	英国	The Whitworth Art Gallery	07.01.19～ 07.04.15	藍染めの歴史及び現代の作品を包括的に紹介する展覧会。地理や歴史的観点からなる6つのセクションから成り、世界中から藍染めの作品が展示される。日本からは新道博之、福本潮子の2名の作品が「青いアート」のセクションで展示。
25	Liverpool Biennial: International 06 Exhibition	英国	Liverpool Biennial of Contemporary Art Ltd	06.09.16～ 06.11.26	International 06 Exhibitionは、25カ国から40名のアーティストを招聘し、殆どの作家に新作の制作を依頼。日本からは環境や場所、美術館の空間に直接的な働きかけをするアーティストとして、鳥袋道浩を招聘。
26	Aesthetics/ Dietetics	イタリア	GAMeC- Galleria d'Arte Moderna e Contemporanea di Bergamo/ Associazione-onlus	06.05.26～ 06.08.06	若手キュレーターの発案におくられる第3回「ロレンツォ・ボナルディ芸術賞」の第1位プロジェクトを展覧会化するもの。テーマは「美学／食餌療法学」。受賞者の遠藤水城氏が、日本人3名を含むアジアからの4作家の作品をキュレーション
27	Solo Exhibition- Mitamura Midori	オーストリア	Vienna Secession	06.11.24～ 07.01.22	三田村光土里のヨーロッパ初の個展。記憶、思い出、と個人的な歴史が、ゼセッションの建築と組み合わせられて新たなインスタレーションを制作
28	Yutaka Sone: Snow	スイス	Kunsthalle Bern	06.06.10～ 06.08.06	スイスでは初となる曾根裕の個展「Snow」をベルン・クンストハレにて開催。「Snow」では作家は雪を多様なメディア（絵画、大理石彫刻、写真、ガラス、木など）によって表現
29	KANNON BOSATSU. Early Buddhist Art from Japan	スイス	Museum Rietberg Zurich	07.02.18～ 07.04.09	リートベルク美術館の新展示ホール完成記念事業として、日本の伝統美術における、観音菩薩像のさまざまな表現を、7世紀から14世紀にかけて、10～13世紀を中心に、彫刻15点、絵画22点、37点（展示替え作品を含む）により紹介。
30	Japan 2000 years of Architecture	スペイン	University of Ramon Llull LA SALLE Engineer Architecture	06.04.01～ 06.04.30	ラモンリュイ大学ラサル建築学部100周年事業の一環として、「出雲大社から伊東豊雄まで」をサブテーマに、日本の2000年の建築の歴史をパネルやスライド、茶室の原寸大模型等により紹介

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
31	ENTRY 2006: Talking Cities	ドイツ	urban drift productions Ltd.	06.08.26～ 06.12.03	ルール地方の炭鉱跡を利用して開催される、建築デザインフォーラムに併せて開催される4つの展覧会のうちのひとつ。Talking Cities展は、社会的あるいは伝達のためのツールとしての、建築のもつ潜在性や能力を再定義する試み。アトリエワンのペットアーキテクチャーを展示する。
32	The Culture of Fear	ドイツ	ACC Galerie Weimar	06.04.01～ 06.06.11	人生で避けて通れない感情である「恐怖」をコンセプトとした展覧会。「恐怖」を作り出すことは、ある種の生産の中心ともなっており、技術発展の要素のひとつと考えられる。本展では、社会の中での「恐怖」の意味について考える江幡京子ほか3名のアーティストの作品により構成。
33	The Lacquers of the Klaus F. Naumann Collection at the Museum of East Asian Art Berlin	ドイツ	National Museum of East Asian Art Berlin	06.10.13～ 07.07.01	ナウマン氏が収集したベルリン国立東洋美術館の所蔵する漆作品並びに日本から出品する漆作品を包括的に紹介する展覧会。ベルリン国立東洋美術館の設立100周年記念行事のひとつ。ナウマン氏のコレクションは、これまで常設展の一部として展示されてきたのみで、全体として展示されるのは初めて
34	Archilab 2006 Japan 30 Japanese young architects	フランス	City of Orleans	06.10.13～ 06.12.23	日本の若手建築家を中心に30組を紹介する実験的建築ビエンナーレ。関連事業として伊東豊雄氏および隈研吾氏による講演事業も実施。
35	Exhibition of a Japanese House and Dwellings, in Paris at the Musee de l'Homme	フランス	Association ” Un Musee de la vie quotidienne du Japon”	07.02.05～ 07.03.31	パリ人類博物館改修の機会に、明治時代の木曾の民家および道具、日常生活品等を展示し、庶民生活におけるライフスタイルを紹介
36	Rising Sun, Melting Moon: Contemporary Art from Japan	イスラエル	The Israel Museum, Jerusalem	05.12.15～ 06.06.30	日本の現代美術を広い世代にわたって、彫刻、絵画、写真、ビデオ・インスタレーション等多様な作品を通じて紹介する展覧会。

造形美術事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
37	The Travel Diary of Erwin Dubsy. Collection of Japanese Albumen Photographs from the Bakumatsu and Early Edo Periods.	チェコ	Moravian Gallery in Brno, Museum of Decorative Art	05.08.27～ 05.11.27 06.01.26～ 06.04.17 06.05.21～ 06.10.31	1874年にチェコ人として初めて来日した、Erwin Dubsy氏が収集した日本写真展。幕末から明治期に写された日本各地の写真300点を通じて、当時の風土・民俗を紹介する。またDubsy氏のコレクションから、合わせて陶磁器や漆器などの作品も展示。
38	Disappearing Art Ise Katagami	ポーランド	National Museum in Wroclaw	06.12.15～ 07.06.30	ポーランドにおける初めての伊勢型紙展。日本の伝統工芸である型紙を、道具、型染めなどと共に紹介。会期中、型紙の歴史や着物のレクチャー、型紙師によるデモンストレーション等も実施
39	Bucharest Biennale 2	ルーマニア	Artphoto asc.	06.05.25～ 06.06.27	今年で2回目の開催となるブカレスト・ビエンナーレは「カオス」をテーマに、日本からは折本立身と月岡彩が出品
40	Japan now: Recent Architectural developments	ルーマニア	Union of Romanian Architects UAR	06.11.08～ 07.01.30	ブカレスト建築ビエンナーレの企画展として、日本の建築家を2部構成で紹介。1部は、既に国際的に活躍している7人の建築家を、2部では、若い建築家10名の仕事を紹介
41	Zone Zero	ドイツ	Stiftung museum kunst palast	06.03.12～ 06.07.10	戦後の重要な美術運動であるゼロ・グループを紹介する展覧会。ドイツ、ヨーロッパのゼロ運動の作家の作品とともに併せて、「具体」の作家の作品の再制作やパフォーマンスの再現を行うことにより、この運動の価値を見直そうとするもの。
42	4th International Artist's Book Exhibition Vilinius 2006	リトアニア	Public Institution "Bokartas"	06.11.15～ 06.12.08	1997年に始まり国際的に注目を集め今回で4回目を迎える、国際アーティストブック・トリエンナーレにおける日本紹介
43	"Kami" The art of paper in Japan	イスラエル	Haifa Museums-The Tikotin Museum of Japanese Art	06.12.16～ 07.03.27	日本人アーティスト7名による、伝統和紙を用いた現代美術展。
44	観音菩薩展	スイス		06.04.01～ 07.03.31	7世紀から14世紀までの観音菩薩像の彫刻、絵画等約40点の展示により、日本の仏教美術及び思想に対する理解を深める

2. 催し等事業費 (6) 国内展 (助成)

海外の優れた美術・文化のなかで、これまで日本に紹介される機会の少なかった展覧会を国内関係者と共催して実施する。
合計額 14,060,380円

	事業名	都市	対象機関	期間	事業内容
1	オーストラリア 現代作家展 ディステイ ニー・ディーコ ン	東京	東京都写真美術 館	06.04.29～ 06.06.11	豪州先住民出身アーティストの作品で、写真・ 映像・オブジェ・インスタレーション等で構成。 作品のテーマは一貫して豪州の社会問題である 先住民と歴史など。2000年シドニービエンナー レ出展
2	Wave front オーストラリア 現代アートの最 前線	東京	トーキョーワン ダーサイト	06.12.20～ 07.02.17	「都市とアート」「東京」をテーマにオーストラ リアのヴィジュアルアート及び現代音楽を紹 介。「レジデンス+展覧会+シンポジウム+共 同制作」を組み合わせたプロジェクト。ビジュ アルアーティスト2名、音楽家2名、作家1名 を招聘
3	Re: search オー ストラリアと日 本のアートコラ ボレーション	仙台市	仙台ひと・まち 交流財団 せん だいメディア テーク	06.11.26～ 06.12.25	日豪交流年記念企画として日豪の先端的なア ートを紹介。 レジデンスプログラムも組み込まれ、地方都市 の空間や文化とグローバルな情報ネットワー クの関係性への言及がテーマ。映像表現&音響表 現、身体表現&映像表現が一体的空間の中で展 開される。
4	アドレアナ・ ヴァレジョン展	東京	原美術館	07.01.27～ 07.03.31	ブラジル現代美術界を牽引する女流作家アド リアナ・ヴァレジョンの個展。
5	スティーヴ・ マックイーン -Caresses[愛 撫]-	丸亀市	財団法人ミモカ 美術振興財団	06.05.14～ 06.07.09	イギリス出身のスティーヴ・マックイーンの映 像作品を紹介する展覧会。猪熊弦一郎の若手作 家を紹介したいという遺志に基づき企画され、 ドクメンタやヴェネチアビエンナーレ等の出品 により活躍が目覚しい同作家の個展を開催。 マックイーンの映像は、カメラアングル、画面 切替、クローズアップの繰り返し等により特徴 づけられ、独特のストリート性を有する。
6	アルフレッド・ ウォリス展	丸亀市	財団法人東京都 歴史文化財団	07.02.03～ 07.03.31	イギリス生まれの独学の画家ウォリスの油彩、 素描などを紹介する。ウォリスの作品は、素朴 な筆致であるにもかかわらず、大胆な構成、躍 動感、調和のとれた色彩など造形的にきわめて 完成度が高い。ウォリスの作品に加え、彼に影 響を受けた画家ベン・ニコルソンなどの画家の 作品もあわせて紹介する。比較的小規模な作品 を、庭園美術館の親密な空間に展覧する。
7	写真の町東川町 海外作家コレク ション展	東京	東川町写真の町 実行委員会	06.06.01～ 06.06.18	写真の町宣言20周年等の機会に、東京写真月間 2006と連携し、同町コレクション1700点強の中 から16カ国21名の海外作家の収蔵作品を展示。 東川町以外では初めての公開となる。

造形美術事業費

	事業名	都市	対象機関	期間	事業内容
8	KANDADA/ Project collective 2006_command N	東京	コマンドN	06.09.15～ 07.02.17	人口減少し空きビルの増加した千代田区界隈で展開されるプロジェクト。国内2組、海外3組の招聘アーティストが作品制作やワークショップ、交流事業を実施し、その成果をKANDADAプロジェクト・スペースにて展示する。
9	大地の芸術祭 越後妻有アート トリエンナーレ 2006	十日町市	大地の芸術祭実行委員会東京事務局	06.07.23～ 06.09.10	「人間は自然に内包される」をテーマに、里山を舞台としたアート作品の展示、遊休施設を活用したアートプロジェクト、地域の祭や農業、地域の記憶とつながったイベント等を展開する大規模国際展の第3回展。
10	アフリカ・リ ミックス：多様 化するアフリカ の現代美術	東京	森美術館	06.05.27～ 06.08.31	アフリカ大陸全土25カ国からの84アーティストによる約140の現代美術作品を展示。新作もしくは過去10年以内の制作の作品がほとんどで、アフリカにおける最新の美術動向が俯瞰できる。
11	ダークサイドか らの逃走	水戸市	水戸市芸術振興財団	06.02.25～ 06.05.07	戦争や大規模な環境破壊といった現代状況を主題に、現代の報道写真とインスタレーション、映像作品、彫刻などの作品を組み合わせた、日本を含む4カ国7名の作家による展示。混沌とした21世紀の始まりにあって「人間の尊厳とは何か」を問いかけた。

2. 催し等事業費 (7)造形美術情報交流(催し)

国内外の造形美術に係わる情報の発信、相互交流を促進する。

合計額 28,113,551円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	日独キュレーター交 流	ドイツ	07.02.21～ 07.02.28 07.03.14～ 07.03.21	2008年ドレスデン国立美術館における日本現代美術展企画に関する事前調査。
2	アジア次世代美術館 キュレーター会議 (継続)	韓国	07.03.20～ 07.03.22	アジアの国立美術館を中心とした次代を担うキュレーター間のネットワーク構築を目指して開始したフォーラムの日本での開催に続く第二回目。今回は日本、韓国、中国、フィリピン、シンガポールの20～30代のキュレーターが参加し、アジア各国での美術調査の報告と各国の美術館の課題について協議を重ねた。
3	棟方志功展への協力	イタリア フランス	06.11.03～ 07.01.26 07.03.07～ 07.04.07	パリ日本文化会館及びローマ文化会館「棟方志功」展開催に際し、学芸員や講演会講師の派遣等により、事業の充実に協力した。

	事業名	対象国	期間	事業内容
4	スペインキュレーターグループ招聘	スペイン	07.03.17～ 07.03.28	スペインの現代美術を専門とするキュレーター、批評家などを招聘し、日本の現代美術をスペインに紹介するとともに、両国関係者間のネットワーク作りを行なった。また、情報の少ないスペインの現代美術を紹介するシンポジウムを開催した。
5	東京-ベルリン／ベルリン-東京展 専門家派遣	ドイツ	06.06.06～ 06.09.30	「東京-ベルリン／ベルリン-東京展」(東京とベルリンで開催)のベルリンでの関連行事(アーティスト・トーク、パネル・ディスカッション)に、日本から、アーティスト、美術評論家を派遣し、事業の充実のために協力した。
6	英国工芸キュレーターグループ訪日への協力	英国	06.11.02～ 06.11.02	英国アーツ・カウンシル主催の工芸専門キュレーターグループ訪日調査に関し、訪問先の斡旋や懇親会の実施等により内外のネットワーク形成に協力した。
7	ドクメンタへの協力	ドイツ	07.02.01～ 07.03.31	ドイツ・カッセルにおいて開催される第12回ドクメンタは、「マガジン・プロジェクト」と称して、世界の80の雑誌社と提携を結んで雑誌・図書・インターネット上において、今回のテーマや美術についての議論・ネットワーク作りが進められる予定である。日本に関しては、フランスに本拠を持つ「Metronom」が、AIT(アーツ・イニシアティブ・トーキョー)や中村政人氏の参加を得て出版を行う。テーマは「美術と教育」で、日本と海外の美術関係者各々約30名が寄稿。基金として、現代美術の潮流・方向性を示すもっとも著名な国際展のひとつであるドクメンタにおいて、日本の美術界からの発信の一環として、本件出版に協力を行う。

3. 催し等事業費(トリエンナーレ)

(1)国際展(横浜トリエンナーレ)

大規模な国際美術展を日本国内において定期的に開催し、世界の現代美術を一般的に広く紹介する

合計額 108,128,450円

	事業名	事業内容
1	準備経費	2008年秋に開催が予定される横浜トリエンナーレ第3回展の準備業務を実施する。準備1年目にあたる2006年度は主に会場選定、ディレクターの決定、事前広報等を中心とした業務を行なう。